

SIDR

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》
平成 22年 3 月
(第9 ～ 12週)

発行年月日：平成22年(2010年) 4月21日
発行：滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症 (一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 22年				平成 21年 ^{*1}		感染症 類型	疾 病 名	平成 22年				平成 21年 ^{*1}	
		1～2月		3月		1～12月				1～2月		3月		1～12月	
		滋賀県	全 国	滋賀県	全 国	滋賀県	全 国			滋賀県	全 国	滋賀県	全 国	滋賀県	全 国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	1	0	4	0	129
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0	3
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		鼻疽	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		ブルセラ症	0	0	0	0	0	2
二類	急性灰白髄炎	0	1	0	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	
	結核	40	3,111	19	1,845	256	26,932	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	マラリア	0	9	0	5	0	56	
三類	コレラ	0	2	0	0	1	16	野兎病	0	0	0	0	0	0	
	細菌性赤痢	0	27	0	10	0	180	ライム病	0	3	0	0	0	9	
	腸管出血性大腸菌感染症	0	166	2	74	27	3,886	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	腸チフス	0	2	0	3	0	29	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	
	パラチフス	0	1	0	4	0	27	類鼻疽	0	2	0	0	0	0	
四類	E型肝炎	0	9	0	9	1	56	レジオネラ症	0	83	0	37	8	712	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0	1	0	16	
	A型肝炎	1	29	1	40	0	115	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	
	エキノコックス症	0	1	0	0	0	26	五類	アメーバ赤痢	3	120	0	67	10	783
	黄熱	0	0	0	0	0	0	ウイルス性肝炎	0	23	0	16	3	220	
	オウム病	0	0	0	1	0	21	急性脳炎	0	52	0	18	8	526	
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	クリプトスポリジウム症	0	1	0	0	0	17	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	18	0	14	2	141	
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	劇症型溶血性 レンサ球 菌感染症	0	25	0	8	2	105	
	Q熱	0	0	0	0	0	2	後天性免疫不全症候群	1	185	0	102	9	1,449	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	ジアルジア症	0	9	0	7	0	73	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	2	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	3	0	10	
	サル痘	0	0	0	0	0	0	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	2	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	梅毒	2	74	0	49	3	692	
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	破傷風	0	6	0	8	3	113	
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	11	0	8	0	116	
	つつが虫病	0	28	0	3	0	465	風しん	1	11	0	5	2	148	
	デング熱	0	11	0	17	0	93	麻しん	0	68	0	29	7	739	
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	新型インフルエンザ等感染	新型インフルエンザ (H1N1) ^(*)	-	-	-	-	138	12,639
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0								

*1 感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

(*)：集計期間は平成21年7月24日～平成21年8月24日。－：未集計

*1 感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

(*)：集計期間は平成21年7月24日～平成21年8月24日、－：未集計

滋賀県における全数報告感染症の概要 (3月)

<結核> 19名

性別：男性 15名、女性 4名

類型：患者 19名

病型：肺結核 13名
その他の結核 6名

<腸管出血性大腸菌感染症>

性別：女性 2名

年齢：20歳、71歳

血清型・毒素型：

O91・VT1 1名

O157・VT1&VT2 1名

<A型肝炎> 男性 60歳

推定感染経路は経口感染で、推定感染地域はフィリピンです。

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関（定点）といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです（患者報告数／定点医療機関数）。例えば、一つの疾患（インフルエンザ等）について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります（疾患により定点数は異なります）。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

3月の概要

<インフルエンザ>

第9～12週（3/1～3/28）における県全体の定点当たり患者数は0.27～0.71で推移していましたが、彦根保健所管内での定点当たり患者数はやや多く、1.14～3.14で推移していました。

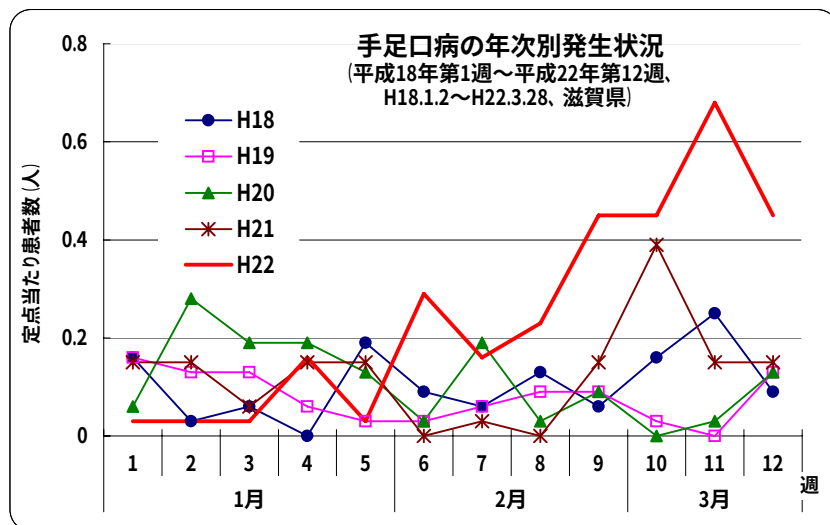
<小児科定点疾患>

先月より増加した疾患は、水痘、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）等で、減少した疾患は、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎等です（他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照）。特に手足口病では、例年同時期よりかなり多くなっていました。また、感染性胃腸炎では、県全体としては減少傾向を示していましたが、長浜保健所管内で、第9～11週（3/1～3/21）の定点当たり患者数は警報発生基準値（警報終息基準値：12.00）を超えていました。水痘では、高島保健所管内で、第11週（3/15～3/21）の定点当たり患者数は注意報発生基準値（4.00）を超えていました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より減少し、急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患では、細菌性髄膜炎は東近江から、マイコプラズマ肺炎は、甲賀および東近江からの報告がやや多くなっていました。クラミジア肺炎は大津市から報告がありました。無菌性髄膜炎の報告はありませんでした。

手足口病の年次別発生状況（平成18～22年）



平成22年における発生状況は、過去5年間の同時期と比較するとかなり多くなっています。特に、第6週以降（2/8～3/28）増加しています。保健所管内別では、長浜保健所管内からの報告が多くなっています。全国の発生状況では、過去5年間の同時期よりかなり多くなっています。都道府県別では、広島県、鹿児島県、岡山県および愛媛県で多くなっています。

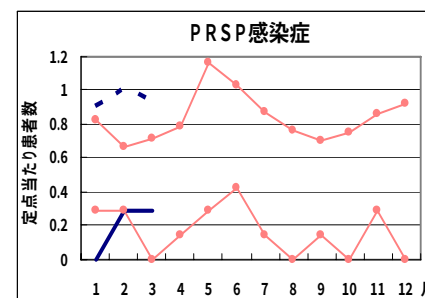
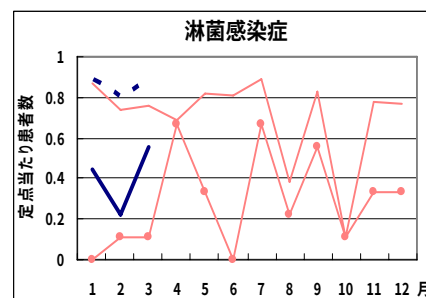
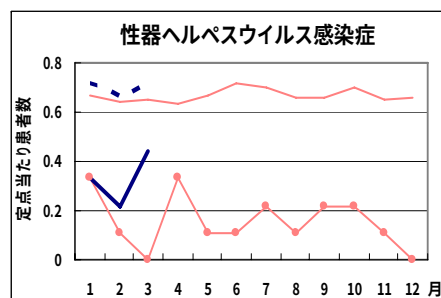
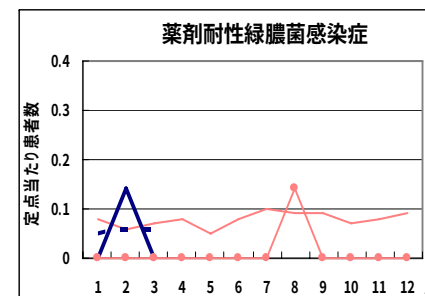
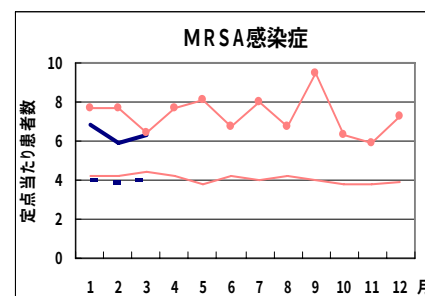
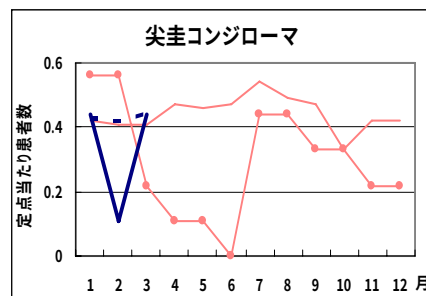
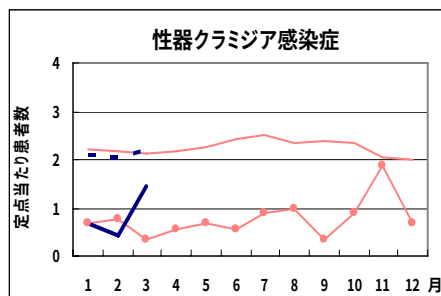
<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑（リンゴ病）、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎（オウム病を除く）

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況 (平成 22 年 3 月)

疾患名	区分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	4	13										23
	定点当たり	0.67	0.44	1.44										2.55
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	2	4										9
	定点当たり	0.33	0.22	0.44										0.99
尖圭コンジローマ	罹患数	4	1	4										9
	定点当たり	0.44	0.11	0.44										0.99
淋菌感染症	罹患数	4	2	5										11
	定点当たり	0.44	0.22	0.56										1.22
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	48	41	44										133
	定点当たり	6.86	5.88	6.29										19.03
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	0	2	2										4
	定点当たり	0	0.29	0.29										0.58
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	1	0										1
	定点当たり	0	0.14	0										0.14

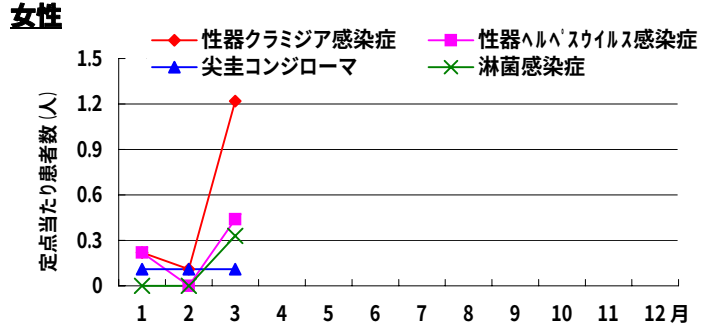
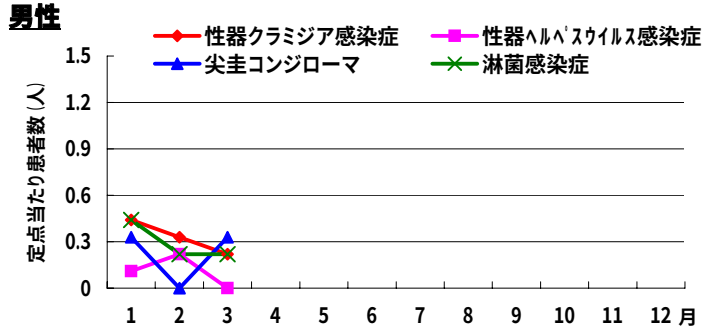


H21 { 滋賀 (red line)
 全国 (blue dashed line)
 H22 { 滋賀 (red line)
 全国 (blue dashed line)

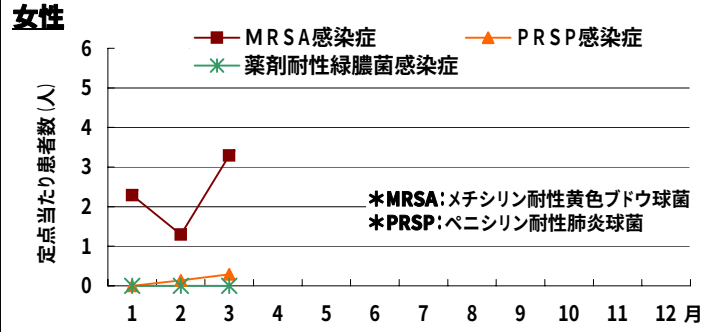
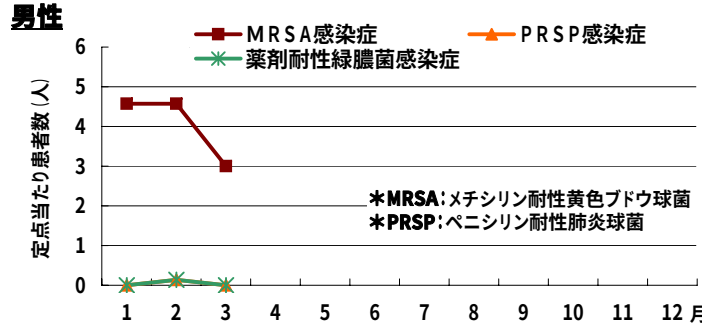
MRSA: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌

性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、増加した疾患は性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症およびMRSA感染症で、PRSP感染症は横ばいです。薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありません。特に、性器クラミジア感染症では3倍増となっています。

性感染症定点における疾患別発生状況



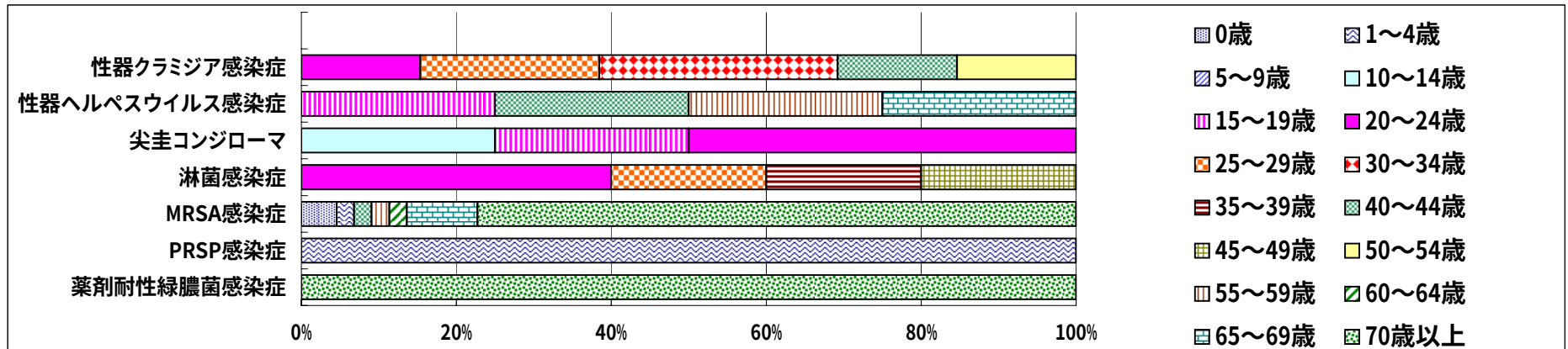
基幹定点における疾患別発生状況



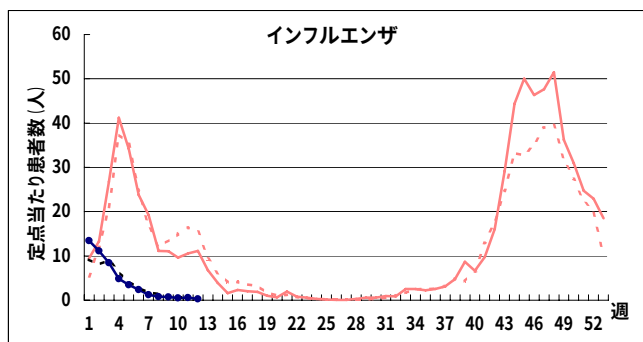
性感染症定点および基準
 幹定点における各疾患の
 月別・性別発生状況は、
 左記グラフに示すとおり
 で、尖圭コンジローマで
 は、男性でかなり増加し
 ています。性器クラミジ
 ア感染症、性器ヘルペス
 ウイルス感染症、淋菌感
 染症およびMRSA感染症
 は、女性でかなり増加し
 ています。特に、性器ク
 ラミジア感染症では急増
 しています。

また、各疾患の年齢別発生状況は下記のグラフのとおりで、性器ヘルペスウイルス感染症および尖圭コンジローマでは、10～19歳からの報告が多くなっています。

疾患別・年齢別発生状況 (H22.3)

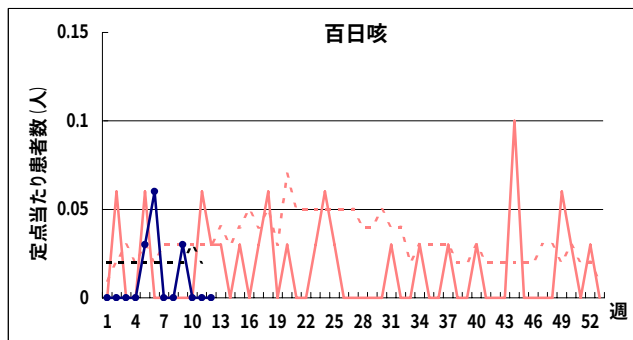
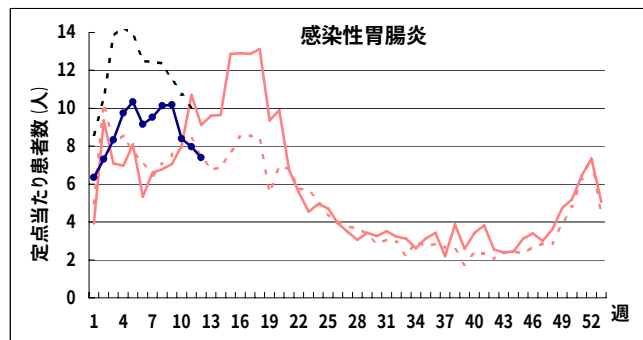
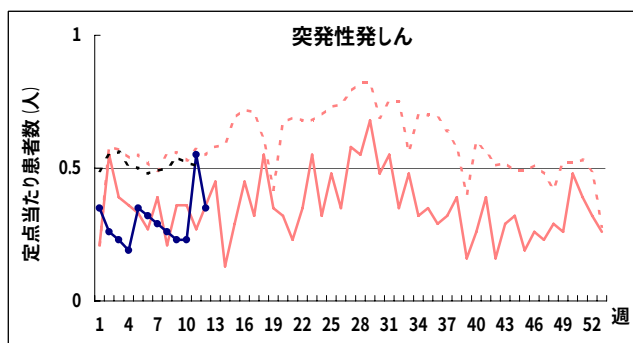
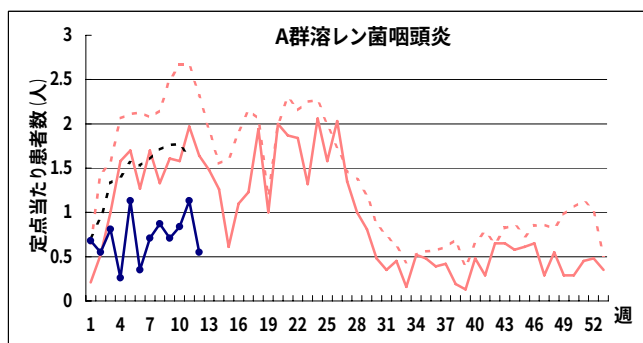
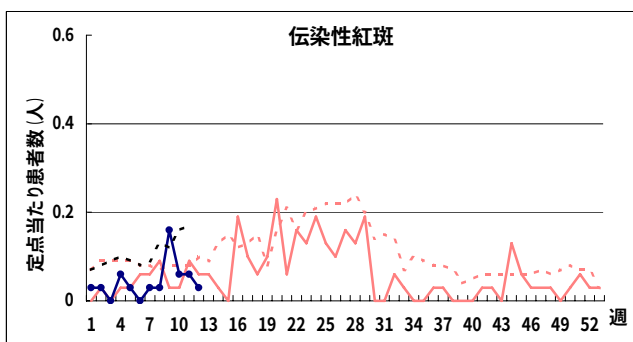
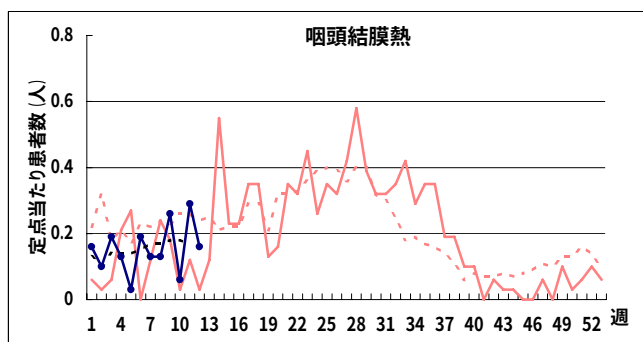
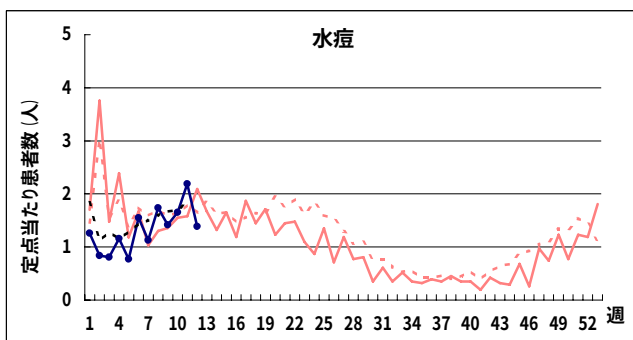
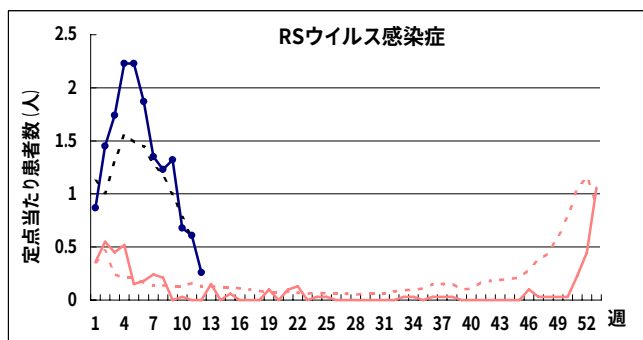


疾病別定点当たり患者数 (平成22年第 1～12 週、H22.1.4～H22.3.28)

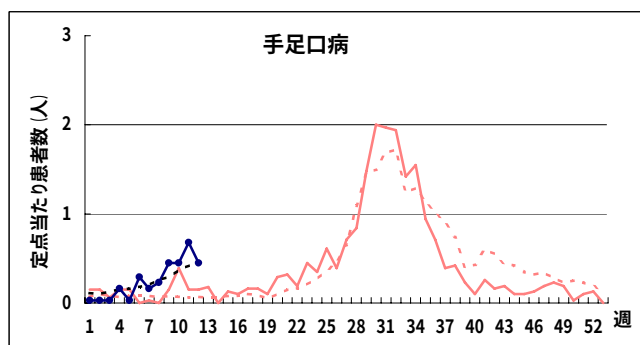


H21 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H22 { 滋賀 (solid blue line)
全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数 (平成22年第 1～12 週、H22.1.4～H22.3.28)



H21 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H22 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted blue line with dots)

